



第 5 号

発行 秦野パサデナ友好協会
 事務局 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号
 (秦野市くらし安心部市民自治振興課内)
 TEL 0463(82)5118 FAX 0463(82)6793
 E-mail siminjiti@city.hadano.kanagawa.jp
 発行日 2010年2月6日

親善訪問団特集



提携45周年の節目に来秦した訪問団
 =さよならパーティー=

提携45周年に17名が来秦

昨年10月30日から11月5日まで、姉妹都市提携45周年を記念してパサデナ市から3年ぶりに親善訪問団が来秦しました。

訪問団は、バーバラ・イーズ姉妹都市協会会長を団長に総勢17名。秦野市民の心温まる「ホスピタリティ」を受けながら、新たな交流の輪を広げました。

秦野とパサデナの両市は、1964年に姉妹都市を提携以来、本市から12回、パサデナ市から15回の相互訪問を行い、友好の絆を深めてきました。しかし、今後も緊密な友好を続けていくためには、未来を担う若い世代の力が欠かせません。そこで、2006年に青少年の相互交流を促進していくため、両市長が合意書を締結、翌年度には、本市から中高生が参加する公式訪問団や少年野球選抜チームがパサデナ市を訪問。若い世代の相互交流に力を入れています。

中学生4名が「親善大使」に

今回の訪問団には、パサデナ市から初めて中学生4名が参加。この4名は、渋沢中学校と友好校であるトンプソン中学校の生徒で、スクールカウンセラーとともにやってきました。

「市民ふれあいの集い」「青少年交流バーベキュー」「渋沢中学校訪問」など様々な交流の場で、小さな親善大使として大活躍しました。同世代をはじめ多くの秦野市民との触れ合いを通じて、未来につながる交流を深めました。

＜紹介します！訪問団員＞

◇パサデナ姉妹都市協会会員

ハンチ・イーズ&バーバラ・イーズ夫妻、ミッキー・ロフテン
 エド・ゴード&ジャニス・ゴード夫妻、ミズホ・フライ
 レオン・サーシー&ギビー・サーシー夫妻、マセラ・ハリス
 シェリー・スクラッグス、パット・ダンスビー

◇トンプソン中学校

プルデンシオ・レイナ(スクールカウンセラー)
 クワア・シャン・トラン(14歳)
 ディ・アンドレ・ラッセル(14歳)
 レクシィ・ペRez(13歳)、タニヤ・トーレス(13歳)

◇パサデナ市職員

ケネス・クック



市役所ロビーに設置した大型歓迎パネル

「パサデナウィーク」で歓迎ムードを盛り上げる

訪問団の来秦に合わせて、10月23日から11月5日までを「パサデナウィーク」とし、市内4駅と市役所ロビーの5カ所に大型歓迎パネルを設置。

パネルには、パサデナ市の概要・交流の歩み・歓迎事業などを掲載し、秦野市民の歓迎ムードを盛り上げました。

訪問団 日程表



日にち	日程	宿泊場所
10月30日(金)	成田空港着・秦野で夕食会	ホテル泊
31日(土)	市役所表敬訪問 指定文化財(仏像)特別公開見学 ホストファミリーと対面 市民ふれあいの集い 歓迎夕食会	ホスト宅
11月1日(日)	ホスト家庭と交流	ホスト宅
2日(月)	ホスト家庭と交流・小田原&箱根ツアー	ホスト宅
3日(火)	少年野球チームと交流・「市民の日」参加 青少年交流バーベキュー	ホスト宅
4日(水)	渋沢中学校授業参加(中学生4名・プルデンシオ) 渋沢中学校訪問(他の訪問団員合流)	ホテル泊
5日(木)	成田空港へ→帰国	



3年ぶりに来秦したパサデナの友人たち。7日間という忙しい日程の中で、秦野市民との様々な親善を深め、新たな交流の輪が広がりました。

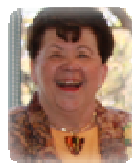
Clean!
と残した一言

訪問団には、初来秦の6人がいましたが、彼らは秦野をめぐるながら、一番印象に残ったことは”Clean!”の一言。緑豊かな山々に囲まれ、盆地の中を流れる川など実に”Beautiful”。しかし、”Beautiful!”(美しい)と”Clean”(きれい)は別物。街中何処に行っても”Clean!”、これがもっとも大きな感動だったとのことでした。彼らが残したこの一言は、私たち秦野市民へのうれしい贈り物で、とても誇らしく感じています。

秦野市長 古谷 義幸



新しいドラマをありがとう



Message from Texan in Hadano

パサデナの皆さんをどう受け入れようかと話し合ったところ、「さわやかに、癒しのある対応を」という声が会員からあがりました。

市民ふれあいの集いでは、中学生が主役で、楽しく和やかに進行してくれました。「市民の日」には、多層の歓迎が行われました。さよならパーティーでは、トークと音楽が快い雰囲気を作り出していました。バーバラ団長の日本語のあいさつも印象的でした。

「訪問1週間の交歓・交流の満足度は100%であったらどうか。」訪問団の帰国後、訪問団の感想が気になりました。後日、2人の友人から“So Wonderful”と手紙をいただき、ホッと胸をなでおろしました。7日間にわたる臨場感のあった「メイクドラマ」が脳裏を離れません。

秦野パサデナ友好協会会長 佐野 美三雄

私が若かった時、ガールスカウトのカウンセラーやリーダーをしていました。その中の歌に、「新しい友だちを作り、古い友だちを大切に。一つは銀、もう一つは金」というのがあります。これが私たちの秦野の友への思いです。今回はパサデナより新しい友を連れて参りました。秦野の皆さんが、私たちを歌のように銀や金のように思ってもらえたらと思います。私たちに手を差し伸べてくださった友情、そして温かい歓迎に感謝いたします。

私たちはたくさんの人たちに、秦野を訪問するたびに家族になった気持ちにさせてくれると話しています。今回もそうでした。

私たちは、友だち、特に日本とアメリカのように遠く離れた友だちにさよならと言いたくありません。楽しかった時の思い出を思い、「さよなら」ではなく、「また逢う日まで」と言いましょ。<あいさつ原文>

パサデナ姉妹都市協会会長 バーバラ・イーズ

訪問団の願い実る



第30回市民の日 (11月3日)



訪問団は、この日様々なイベントに参加し、開会式では全員が舞台に登場しました。一人ひとりが紹介され、バーバラ団長が日本語であいさつし、西小学校の児童たちが全員に手作りのプレゼントを贈り、歓迎しました。会場に集まった人々は、アメリカやパサデナの国旗を手に、テキサスの歌『線路は続くよどこまでも』を合唱しました。するとどこからともなく4人の「人列車」が現れ、シュッシュッポップとおどけて走り、会場を沸かせました。澄みきった青い空、紅葉した木々、美しい丹沢をバックに舞台で次々と披露されるイベントを市民とともに満喫しました。

一方、各個店で買い物をする人、また友好協会のテントでバザー・トルティーヤチップス・ホットコーヒーの販売を手伝う人、椅子に座りのんびりと行き交う人を眺める人、通訳ボランティアとおしゃべりを楽しむ人、訪問団員は思い思いに「市民の日」を満喫しました。一昨年3月パサデナを訪問した少年野球選抜チームのメンバーもテントで合流し、楽しかった思い出話に花が咲きました。昼食後、この日誕生日を迎えたシェリーとプルデンシオに大きなケーキのプレゼントがありました。ろうそくの火を吹き消すと、一斉に「Happy Birthday」の合唱。このサプライズに2人は感激していました。

「市民の日」という絶好の機会に来秦し、「多くの市民と交流したい」という訪問団の願いが叶い、意義深い一日となりました。このイベントのために多くの時間を割いて協力して下さったボランティアの皆さまに感謝します。パサデナと秦野を結ぶ心の線路はどこまでも続くことでしょう。



開会式で訪問団に手作りのプレゼントを贈った西小学校は、パサデナ市のスパークス小学校と姉妹校の関係にあります。今回、スパークス小学校に通うひ孫を持つハリスさんがスパークス小学校の児童から西小学校の児童への手紙を持ってきてくれました。両校の友好交流がこれからも続いてくれるといいですね。



Welcome パサデナ!
～感謝の再会～



秋晴れの下、秦野球場で少年野球卒業大会・トスボール大会の開会式が行われ、訪問団にゲスト参加をしていただきました。そこでは、バーバラ団長とケネスさんにあいさつをしていただきました。ケネスさんは一昨年3月に少年野球選抜チームがパサデナを訪問した際にバスの運転手をしてくれた方です。メンバーに対する「礼儀正しさ」をあいさつで称賛していただき、感謝の思いが一杯でした。

秦野市少年野球連盟からは、「秦野達磨凧」などの記念品を訪問団に贈り、トンプソン中学校の生徒にはトスボール大会の「試打式」に参加していただきました。周囲からも歓声が上がリ、楽しく交流することができました。

秦野市少年野球連盟
飯塚 雄三



Howdy!

～秦野とパサデナの親善交流を応援しています～

株式会社 藤野製作所

代表取締役会長 藤野 誠

秦野市曾屋338番地



ドキドキワクワク 初来秦メンバー & ホストファミリー



きれいな街に感激

ディ・アンドレ・ラッセル

My impression of Hadano was to see flashing lights and nice people greeting us.

My impression of school life is to see smart educated children who learn quickly, not disrupting the teacher.

秦野では、ネオンの光と大歓迎してくれる人々が印象的でした。渋沢中学校では、先生の言うことをよく聞いて、すぐ理解できる賢い生徒たちが印象的でした。



アットホームなおもてなし

ケネス・クック

Hadano is a very friendly city. I felt like I was at home. Hadano is very clean. I wish Pasadena was this clean. I want to come back many times and bring my family to share in the Beautifully City and the love your city shows.

まるで家にいるような親しみを感じました。またいつの日か秦野に来て、自分の家族とともに、この美しく愛情あふれる街を分かち合いたいです。



友だちが増えた！

ホスト 望月 國男

ケネスは体が大きいのに、口数は少なくおとなしい。お酒は強そうで飲まない。我が家に滞在中はずっと、「コーヒー、ノー。ウォーター、プリーズ」で、家に帰ると、私たちとしゃべることなく、すぐ布団に横たわっていました。

成田空港では残ったドルのお金をすべて協会に寄付してくれた心の優しい人でした。パサデナにまた友だちが一人増えて嬉しい限りです。

今回6人の初来秦メンバーを迎えました。
秦野の印象や学校生活の思い出を語ってくれました。



クラスで先生が移動するの？

クワア・シャン・トラン

The city is beautiful. It is very well kept. The buildings and cars are small compared to Pasadena. I like the tasty food and the mountains surrounding Hadano. The people are very nice and selfless.. They respect others. I would like to come back.

The classes in Shibusawa J.H. seem much more fun than the ones in Pasadena. I thought it was strange that the teacher moved from classroom to classroom and not the students. The students are friendly and funny.

建物や車がいパサデナに比べて小さいと思いました。おいしい食べ物と秦野を取り囲む山々が好きです。渋沢中学校では、生徒ではなく、先生の方が授業ごとに教室を移動するのが不思議でした。



市民の意識の高さに尊敬！

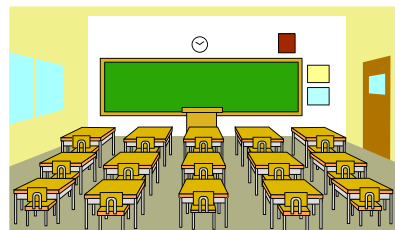
プルデンシオ・レイナ

My impression of Hadano is how clean and beautiful the city is. People have a sense of community and a pride in everything they do. People are very respectful of their property and everyone's else. Every citizen I met showed me love, respect and warmth. The culture is something that is part of every citizen and they all obey the rules and form a happy and respectful community.

My impression of the school again is how the students are respectful and they showed wisdom at an early age. The school was a happy place and students have respect for themselves and others. The different classes I visited, I noticed the students engaged and involved in the learning.

秦野市民の皆さまに温かいおもてなしを受けました。彼らはお互いに尊重し合い、秩序正しく、また幸福な地域社会を作ろうとする意識が高く、たいへん尊敬しています。

中学校では、生徒たちは、早い年代から知識が豊富で素晴らしいと思いました。忙しくても学習に熱心に取り組んでいると感じました。



秦野って、ゴージャス！

タニヤ・トーレス

I loved Hadano Japan. I had an amazing time. Everyone was friendly and it broke my heart to leave, but I will be back. Hadano is gorgeous. I fell in love with the nature. I had such a great time it was such a great experience. I LOVE HADANO!

Going to Junior High was an incredible experience. All the kids were very friendly I made friends quickly. So here's a message to all of them. "You guys are the best. I won't ever forget you all." I enjoyed going to Junior High hopefully one day I'll come back.

秦野の自然に恋しました。帰らなければならないのがとてもつらかったです。

渋沢中学校で友だちになってくれた人たちに「あなたたちは最高です。決して忘れません。」というメッセージを送ります。



思い出をありがとう！子どもたちのふれあい

ホスト 岩田 やよひ

我が家の子どもたちは、男の子。女子中学生も最初はかなり緊張していましたが、家族のルールなどを説明しているうちにすぐに打ち解けてくれました。

文化の違いで楽しかったことは、家に入るときは靴を脱ぐということは知っていましたが、外出する際、違う靴に履き替える時、部屋で取り換え歩き回っていました。「靴は玄関から」と言うと、「オー」と言い、その時の表情がとても可愛かったです。また、お弁当を持っていく前日に、「お弁当はピーナッツジェリーサンドイッチで大丈夫？」と聞くと、「できるの？」と言って顔を輝かしたこと。アメリカを離れてたった5日間。アメリカの食事が懐かしかったのでしょうね。本当にたくさんの思い出を我が家に残してってくれました。今度は私が二人に会いに行ってみたいです。



よい思い出！感謝です！

ホスト 田中 節子

実に楽しかったです。文化、宗教、ものの見方の違いなど驚いたり感心したり。笑顔で交流でき、言葉の壁はあるにせよ、気持ちを伝えあうことができたかなと思います。

大雄山、天ぶら、陶磁器、書道、羽織はかま姿、下駄を履いての散歩などに挑戦しました。みなよい思い出です。家族みんなの力の結集です。感謝です。



みんながフレンドリー

レクシィ・ペレズ

Going to Hadano was one of the greatest experiences of my life. The people were warm hearted, friendly, and all-around kind. Everyone made me feel like gold. The city was beautiful, clean, and well kept. I hope to return in the very near future.

Going to Shibusawa was something I will never forget. I met people who I immediately became friends with. Although it was hard to leave all our new friends, it made me want to return to Hadano and visit them again.

秦野の人たちは心温かく、フレンドリーでとても親切でした。街は美しく清潔で、とてもよく手入れされていました。渋沢中学校では、会ったとたん友だちになってくれました。新しくできた友だちと別れるのはとても辛かったです。また秦野に戻り、みんなに会いたいです。



ホスト 飯塚 薫

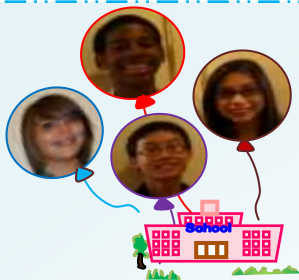
私自身がカナダでホームステイを経験したこともあり、子どもにも世界にはいろいろな人がいることを教えたいと思い、今回のホームステイを希望させていただきました。

初めはアンドレとクワアもうちの子たち（7・5・3歳）も緊張していたようですが、すぐに打ち解けました。

日曜日には大山登山に行き、頂上からの眺めに感動していました。頂上で食べるラーメンも美味しかったようでした。お土産屋さんでは一軒一軒じっくり見ている、それぞれに気に入ったお土産を買っていました。ケーブルカーや電車を乗り継ぎ、鶴巻温泉で温泉に入りました。クワアは、最後まで脱衣所でパンツを脱ぐのに抵抗していたようです（笑）。

子どもたち同士は、「さよなら」を「バイなら」と言ってふざけ合うなど仲良くしていました。滞在中はいろいろありましたが、子どもの自然な触れ合いが世界を身近に感じ、お互いを高め合うことができるのだと実感しました。

二人が帰国してから数カ月経ちますが、我が家ではまだ二人の話題が尽きません。



念願の姉妹校提携

トンプソン中 = 渋沢中 11月4日調印

握手も堅い調印式



訪問団の生徒たちには日ごろの中学校のそのまを体験してもらいました。言葉もわからず、知り合いもない中で不安は大きいだろうが、素直に見たこと、感じたことをパサデナに持ち帰ってもらうことが大切と思い、年齢相応の観点と、当校にパサデナで野球親善試合をした生徒が第2学年に2人いることを考慮し、第2学年の各クラスに彼らを1人ずつ配属しました。4人はすぐにクラスに溶け込み、休み時間はクラスで談笑し、昼食はホスト家庭の手作り弁当を食べ、昼休みは生徒会主催の歓迎会での交流を楽しみました。また、同行のメキシコ育ちのレイナ氏には授業参観、当校のスクールカウンセラーとの意見交換、スペイン語を母語とする当校生徒との懇談などしていただき、実りある交流が行われました。



筆を手に何の相談かな？

午後、他の訪問団員の授業参観後、歓迎式典と姉妹校提携の調印式が行われ、交わされた締結書は各校で保管することになりました。予定した時間もあっという間に過ぎ、帰りぎわには窓から声をかける生徒やバスの所まで駆け寄って来る生徒もいました。4人の生徒たちを迎えた各クラスの生徒たちが、涙を流し別れを惜しみ再会を望む姿は印象的でした。わずか半日でしたが、生徒たちはすてきな時間を過ごしました。

渋沢中学校校長 山谷 秀樹

英語で初めての司会に緊張しましたが、和やかな雰囲気の中ででき、訪問団の中学生とも仲良くなれて嬉しかったです。本町中学校3年 吉田 有希

本場の英語に接し、自分の英語に少しがっかり。ジェスチャーを交え何とか伝えられました。これを機に英語をもっと勉強したいです。

南中学校3年 増田 知美



英語でみごとな司会

市民ふれあいの集い

10月31日(土) 商工会議所

市民100余名が参加



弾けたよ！

訪問団の中学生に“Can you speak English?”と聞かれ、“I can speak it a little.”と言ってしまったため、あまり話せなかったことが心残り。また、機会があれば参加したいです。南中学校3年 瀧澤 衿百

公の面前で英語を使うのは久しぶり。訪問団の中学生とすぐに友だちになり、特にレクシィは歌が上手であることを知りました。ダンスは小学生の時にやったことがあるので楽しくでき、パサデナに行く機会があれば行きたいです。南が丘中学校3年 油谷 早百合

通訳ボランティアに参加でき、よい経験になりました。ダンスが一番盛り上がり楽しかったです。西中学校3年 田中 愛

訪問団の中学生と交流し、英語で少しでも会話ができて嬉しかったです。よい経験になりたくさんの思い出ができました。またパサデナ市との交流会に参加したいです。南中学校3年 清水 里佳



青少年交流バーベキュー

…囲んだファイヤーより温かかった友好…

11月3日 表丹沢野外活動センター



再会に乾杯!

訪問団、ホストファミリー、元少年野球選抜チーム選手、西中学校剣道部の総勢約80名の参加で、バーベキュー交流が行われ、訪問団の中学生たちによるファイヤーの点火式は、大きな歓声と拍手で盛り上がりました。そして、テンポとリズムのよいテキサスダンスに生徒も大人も楽しんでいました。山の空気は冷たかったものの、参加者の友好と再会の喜びで温かいひとときを過ごすことができました。

秦野市少年野球連盟 佐藤 幸雄

ぼくは、今回のバーベキューキャンプと渋沢中学校での2日間を訪問団の中学生たちと過ごしよい経験になりました。言葉が通じなくても楽しく過ごせるということ学びました。これからも機会があれば交流をしていきたいと思います。

元少年野球選抜チーム

石川 琢磨

訪問団の中学生の第一印象は、みんなとてもおもしろいなと思いました。バーベキューの時はみんなで仲良く踊ったり、食事をしたりして交流できていたと思います。もう少し一緒にいたかったけど時間がなくて残念でした。機会があったら一緒に食事などをしたいです。

元少年野球選抜チーム 諸星 秀樹



点火する訪問団員

…バーベキューとダンスで再会を喜ぶ…

中学2年生になった少年野球選抜チームメンバーはすっかり大人っぽく成長し、「久しぶり!」「元気だった?」と訪問団の青少年たちと片言の英語で会話を楽しんでいました。訪問団は、メンバーがトンプソン中学校を訪問した際に、積極的に交流をしてくれた生徒たちだったのです。肩を組んで記念写真を撮り再会を喜ぶ子どもたちの笑顔がファイヤーに映し出されました。訪問団の中学生たちは、ピカピカ光るボールと、マスコットを記念に配りました。訪問団のダンスが始まり、ファイヤーを囲んだ老若男女も見よう見まねでダンスに加わり楽しみました。そして、再会を約束しお別れしました。

秦野パサデナ友好協会会員 猪野 紀子

2年前にお世話になってたくさんの思い出をくださったパサデナの方々に、少しでも恩返しをしたい...そんな気持ちで保護者に声をかけたら、多くの方々がお手伝いをしてくださいました。訪問団の方々に満足の行くものだったか不安でしたが、私たちも楽しむことができ、よい機会を与えていただいたことに感謝しております。

元少年野球選抜チーム保護者

加藤 みどり

西中と交流

日本古来の剣道を披露する機会を得、部員一同貴重な経験をしました。基本稽古、剣道形などを行った後、訪問団の中学生たちによる竹刀を使っての実践打ち、慣れない手さばきながらも実に楽しそうでした。レイナ氏から竹刀の入手方法の問い合わせもあり、交流の場にふさわしいひとときでした。

西中学校剣道部顧問 桑原 直樹



OK! 気合いは十分

1984年にスタート

教育委員会交流

秦野・パサデナ両市の教職員交流は、今から26年前の1984年にスタート。

教職員を対象に、アメリカの教育や文化を学び、国際感覚を養うのが目的。第1回目の交流は、当時教育総務部長の山口英夫さん、本町小学校の飯沼清校長と望月國男教諭の3名。

この事業は1997年まで続き、この間、教職員など55名が交流に携わりました。交流をきっかけに、92年から97年までパサデナ市から英語教諭が派遣され、本市で年間数10回のネイティブとの英語授業が本格実施となりました。

来秦1人目は、トンプソン中学校教諭のジム・パウザーさん、翌年はメアリー・ベイカーさん（モーア小学校教諭）と、リサ・グローブさん（レッド・ブルフ小学校教諭）の2名が続きました。外国人との接触のない生徒たちが初めて生の英語に触れ、習ったばかりの英語で「自分の英語が外国人に通じる！」と目を輝かせた生徒の姿が多くありました。

しかし、9・11テロの影響で、クリスタ・オースティンさん（パサデナ高校教諭）を最後に、交流は中止。パサデナ市から11名の教諭が来秦しましたが、その中には、琴の活動を通じて交流の架け橋となっているルース・ウェルボーンさんも。その後、教職員交流から青少年交流にシフトし、98年から2003年まで18名の本市中学生がパサデナ市を訪問しました。



少人数にびっくり!!

ホームステイ先の子どもたちと一緒に学校で授業を受け、市内の教育施設やNASAの見学など貴重な体験をしました。帰国後、彼らから平屋の広い校舎、芝生の校庭、ノー・ユニフォーム、授業ごとに生徒がクラス移動、カフェテリアなどまさに異文化の中でたくましく過ごす姿が報告されました。



今でも宝のショット

秦パ交流記

シリーズNo.5

2人のちびっ子が飛び入り参加

十月三十一日「市民ふれあいの集い」でのこと。あいさつも済んだ頃、一人のぼくちゃんが前に出、マイクを片手に何やら「☆○×△」と話し始めた。聞いている誰もが日本語なのか英語なのか不明。両親さえも理解不能。彼なりの英語での歓迎あいさつだったのかな?...今も謎!
二人目のぼくちゃんは、テキサスダンスで、見事な踊りを披露してくれたアンドレ君の片足にしがみ付き離れない。遂にお母さんが迎えに行く事態。これも彼なりの歓迎だったのかも。
二人のぼくちゃん、かわいい演出をありがとう。

未来の会長候補?



ほらほら、足を離して!



皆、聞いててね~

編集後記

今回この事業が成功しましたのも様々なボランティアの方のご協力があったこそだと思います。ありがとうございました。

これからも姉妹都市交流事業を活発にしていきたいと思っています。私たちと一緒に活動してくださる方を、いつでも募集しています。あなたの熱意、お待ちしております!

アトリエこみやま

月の輪倶楽部

主宰:込山 也寸子

芸術に国境なし!

国際交流を応援します。

秦野市寿町 10-2

TEL: 0463-82-8858



人生の幸せはお口の健康から

診療時間 9:00AM~12:00PM 休診日 日曜
2:00PM~7:00PM 祝祭日

前島歯科医院 一般歯科・小児

秦野市米町5-21 TEL FAX 0463-83-8877